

# 「官から民へ」 小さな政府、くらしはどう変わる

公開シンポジウム



小泉内閣と財界による「自治体構造改革」の進行するも、4月22日に、大阪市内のOMビル大会議室で、公開シンポジウム「官から民へ」小さな政府、くらしはどう変わるが開かれました。このシンポジウムは自治労連近畿ブロックが主催したもので、市民、自治体労働者、研究者、地方議会議員など会場いっぱいの約100人が参加しました。

## 行きつく先は住民の負担を強いるだけ

「いま求められる公共サービス、『小さな政府論』に抗するために」のテーマで講演した、都留民子さん(県立広島大学教授)は、小泉構造改革を「新たな市場による社会の解体」としたうえで、戦後日本の、高度経済成長期と低成長期の生活様式のそれぞれの特徴を詳しく示し、家計収入が低迷から減少に転じているこ

と、収入格差が広がっていること、家計支出に占める「生活基盤」・社会保障・社会福祉関連費目の急激に上昇していること、まじめに働いても貧困状態から抜け出せないワーキングプアが増大していることを指摘しました。また、国民の貧困化は、地域社会やさまざまな関わりから遠ざけることにつながることを強調しました。そして、こうした事態をもたらす「小さな政府」路線に対して、国民的な連帯を強めるためのナショナルミニマムの確立、最低生計費試算のとりくみ、リビングウェッジや公契約運動、最低賃金制の確立などの運動を広げていくことを強調しました。

参加者からは「都市交通と市民の足を守るという共同で、尼崎市バスを考える市民の会を結成していく」とりくみを進めている「7月2日投票の滋賀県知事選挙では、栗東に新幹線の駅をつくる問題が大きな焦点になっている」「生駒市では37歳の市長が誕生。市政マニフェストをだしました、駅前開発などの予算を見直すとともに聖域のない行革をといっている」などの発言が続きました。

今月のキーワード  
教育基本法の改悪案

いまの国会で、政府・与党は教育基本法の改悪案をだしています。「教育の目標」では、子どもたちに「愛国心」を無理やり押し付ける内容になっています。世論調査でも、国民は教育基本法の早急な「改正」を望んでおらず、もっと、ひらかれた場で幅広い国民各層が参加して、時間をかけて議論することを望んでいます。現在の教育基本法こそいっそう具体化をはかるべきです。

犠牲者への追悼と安全への思いをこめて  
ゴスペルの合唱が会場にひびきました



# JR西日本の 福知山線事故から一年

2005年4月25日、JR西日本福知山線の尼崎駅近くでおこった脱線事故。この事故では107人の死者と、555人にのぼる負傷者がありました。あれからちょうど1年たった4月25日、遺族や負傷者、家族で構成された「4・25ネットワーク」とボランティア、また集いに賛同した著名人・文化人がいっしょになって、阪神・淡路大震災のメモリアルデーのとりくみの

## 追悼と安全の夕べ

ような「追悼と安全のとりくみ」という思いを持ちよって「思いをつなぐ連絡会」をつくり、尼崎市で「追悼と安全の夕べ」がひらかれました。この事故が、安全を信じて地域で暮らす人々に突きつけた問題はあまりにも大きいものがあります。この「夕べ」は、こうした安全の問題を多くの市民といっしょになって考える場でもあります。

「夕べ」では、自らも事故列車の3両目について負傷したピアノリストの阪本朋子さんが、事故に遭遇したようすを語り、回復した今をピアノ演奏で示しました。ゴスペルの合唱、二胡演奏、事故で亡くなった被災者の追悼文集の朗読が続きました。また、遺族のなかから、篠原信一さん、浅野弥三さんがJR西日本の安全に対する企業責任と認識を告発しました。

「4・25ネットワーク」への募金のお願い  
口座記号 0094010  
口座番号 80489  
加入者名 4・25ネットワーク  
個人募金10000円(1000円以上をお願いします)

## いまこそ憲法を守り、生かそう



記念講演の新倉修さん(右)と報告をした梅本千代子さん(左)

## 5.3 憲法記念日のつどいを開催

日本国憲法は5月3日に59回目の記念日をむかえました。「いまこそ憲法を守り、生かそう」と全国で、大阪で多彩な集会や行事、宣伝行動が行われました。大阪では、午前から「5・3憲法記念日のつどい」(大阪憲法会議主催)が、大阪市の産業創造館でひらかれ、500人の府民が集まりました。

つどいでは、新倉修さん(国際法律家協会)が「世界

から見た九条」のテーマで講演。「日本の憲法九条は世界が注目している。各国では九条を我々にも、という思いが強い。九条の内容を各国の憲法にいかしていく運動やキャンペーンが大」と語りました。また、つどいでは大阪自治労連の梅本千代子さんが「各職場の婦人部では、平和バスツアー、学習会、9の日宣伝、『九条の会』結成などさまざまにとりくみを展開

しています。憲法改悪などともんでもないの思いです」と、大阪自治労連婦人部のこの間の憲法・平和を守る活動やとりくみを紹介しました。

参加者は、連休で賑わう千日前、道頓堀など難波界隈の繁華街を「憲法改悪は許しません。憲法を守り生かしましょう」と、訴えながら練り歩きました。

今月のキーワード  
セ・パ交流戦

2005年から始まった、プロ野球のセリーグとパリーグの交流試合。プロ野球人気を盛り上げる新しい試みです。5月9日から6月13日までの約1カ月の期間に、各チームが相手リーグの各6チームと6試合づつ、合計36試合が開催されます。ペナントレースにもこの交流試合の成績が組み込まれます。昨年、セリーグ優勝の阪神は、この交流戦で好成績を残して、優勝につなげています。